

日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第243期（決算日 2023年8月15日） 第245期（決算日 2023年10月16日） 第247期（決算日 2023年12月15日）
第244期（決算日 2023年9月15日） 第246期（決算日 2023年11月15日） 第248期（決算日 2024年1月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「日興・GS 世界ソブリン・ファンド（毎月分配型）」は、2024年1月15日に第248期の決算を行ないましたので、第243期から第248期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託の受益証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<952346>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		債券組入比率	投資信託 組入比率	純資産額		
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰				中 率	
	円		円		%	%	%	百万円		
219期(2021年8月16日)	5,000		20		0.5	203.70	0.5	—	98.4	3,808
220期(2021年9月15日)	4,985		20		0.1	203.07	△0.3	—	98.4	3,786
221期(2021年10月15日)	5,034		20		1.4	205.93	1.4	—	98.4	3,812
222期(2021年11月15日)	5,016		10		△0.2	205.28	△0.3	—	98.3	3,784
223期(2021年12月15日)	4,977		10		△0.6	204.88	△0.2	—	98.3	3,746
224期(2022年1月17日)	4,870		10		△1.9	202.12	△1.3	—	98.3	3,635
225期(2022年2月15日)	4,745		10		△2.4	198.83	△1.6	—	98.3	3,522
226期(2022年3月15日)	4,769		10		0.7	198.36	△0.2	—	98.3	3,531
227期(2022年4月15日)	4,895		10		2.9	203.29	2.5	—	98.3	3,616
228期(2022年5月16日)	4,869		10		△0.3	202.67	△0.3	—	98.3	3,578
229期(2022年6月15日)	4,840		10		△0.4	201.06	△0.8	—	98.3	3,544
230期(2022年7月15日)	5,043		10		4.4	211.49	5.2	—	98.3	3,683
231期(2022年8月15日)	4,934		10		△2.0	207.71	△1.8	—	98.3	3,596
232期(2022年9月15日)	5,016		10		1.9	210.34	1.3	—	98.3	3,626
233期(2022年10月17日)	4,905		10		△2.0	207.24	△1.5	—	98.3	3,540
234期(2022年11月15日)	4,785		10		△2.2	204.92	△1.1	—	98.3	3,424
235期(2022年12月15日)	4,811		10		0.8	204.51	△0.2	—	98.3	3,431
236期(2023年1月16日)	4,521		10		△5.8	194.01	△5.1	—	98.3	3,223
237期(2023年2月15日)	4,637		10		2.8	198.56	2.3	—	98.4	3,272
238期(2023年3月15日)	4,686		5		1.2	201.19	1.3	—	98.4	3,293
239期(2023年4月17日)	4,713		5		0.7	203.58	1.2	—	98.3	3,293
240期(2023年5月15日)	4,778		5		1.5	206.57	1.5	—	98.3	3,331
241期(2023年6月15日)	4,883		5		2.3	209.90	1.6	—	98.4	3,331
242期(2023年7月18日)	4,910		5		0.7	212.76	1.4	—	98.3	3,309
243期(2023年8月15日)	5,019		5		2.3	216.67	1.8	—	98.4	3,367
244期(2023年9月15日)	5,013		5		△0.0	217.46	0.4	—	98.3	3,334
245期(2023年10月16日)	4,948		5		△1.2	216.73	△0.3	—	98.3	3,285
246期(2023年11月15日)	5,105		5		3.3	224.66	3.7	—	98.3	3,346
247期(2023年12月15日)	5,009		5		△1.8	220.54	△1.8	—	98.4	3,234
248期(2024年1月15日)	5,067		5		1.3	225.27	2.1	—	98.3	3,254

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、設定時を100として2024年1月15日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

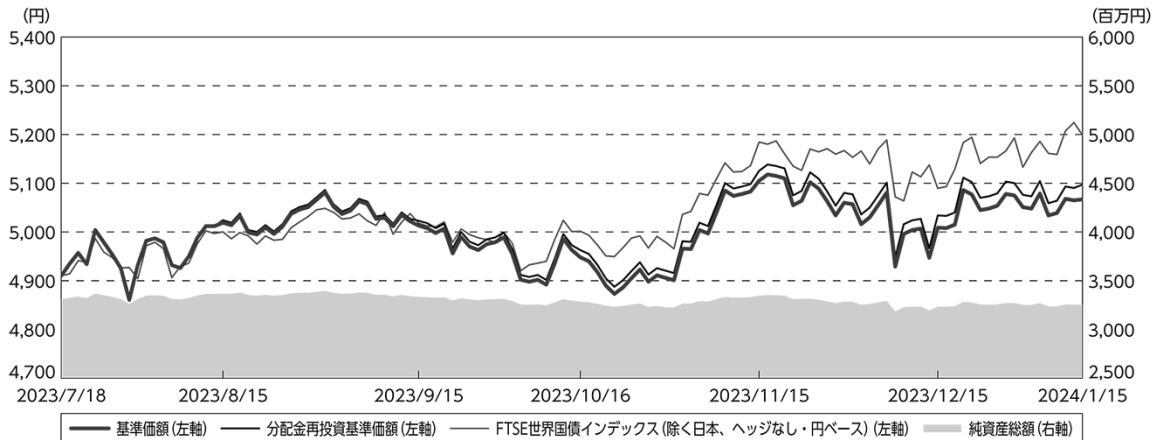
決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第243期	(期 首) 2023年7月18日	円 4,910	% —	212.76	% —	% 98.3
	7月末	4,932	0.4	212.52	△0.1	98.3
	(期 末) 2023年8月15日	5,024	2.3	216.67	1.8	98.4
第244期	(期 首) 2023年8月15日	5,019	—	216.67	—	98.4
	8月末	5,081	1.2	218.76	1.0	98.4
	(期 末) 2023年9月15日	5,018	△0.0	217.46	0.4	98.3
第245期	(期 首) 2023年9月15日	5,013	—	217.46	—	98.3
	9月末	4,979	△0.7	215.76	△0.8	98.4
	(期 末) 2023年10月16日	4,953	△1.2	216.73	△0.3	98.3
第246期	(期 首) 2023年10月16日	4,948	—	216.73	—	98.3
	10月末	4,901	△0.9	215.17	△0.7	98.3
	(期 末) 2023年11月15日	5,110	3.3	224.66	3.7	98.3
第247期	(期 首) 2023年11月15日	5,105	—	224.66	—	98.3
	11月末	5,060	△0.9	223.90	△0.3	98.3
	(期 末) 2023年12月15日	5,014	△1.8	220.54	△1.8	98.4
第248期	(期 首) 2023年12月15日	5,009	—	220.54	—	98.4
	12月末	5,051	0.8	222.43	0.9	98.4
	(期 末) 2024年1月15日	5,072	1.3	225.27	2.1	98.3

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2023年7月19日～2024年1月15日）

作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2023年7月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界先進国の信用度の高いソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・円安要因により参考指数が上昇したこと。
- ・資産間配分戦略がプラスに寄与したこと。

＜値下がり要因＞

- ・債券国別配分戦略がマイナスに影響したこと。
- ・通貨配分戦略がマイナスに影響したこと。

投資環境

（海外債券市況）

米国の10年国債利回りをはじめ、欧州の英国やドイツ、フランス、イタリアなどの主要国でも、利回りは期間の半ばにかけて緩やかに上昇（債券価格は下落）したものの、期間末にかけて低下（債券価格は上昇）し、期間末の利回りは前期間末に近い水準でした。

米国国債の利回りは、2023年4－6月期の実質国内総生産（GDP）速報値や7月のADP全米雇用レポートの結果が市場予想を上回ったことで、堅調な労働市場や景気回復期待から利回りが上昇しました。8月になると、一部産油国による減産などを背景に原油先物価格が上昇し、インフレ圧力が懸念されたことや、8月の米供給管理協会（ISM）非製造業景況感指数が市場予想を上回ったことなどを受けて、利回りは上昇しました。また、小売売上高や鉱工業生産がいずれも市場予想を上回り、経済の先行きに対する楽観的な見方が強まったこともあり10月末には4.9%まで上昇しました。しかし11月以降になると消費者物価指数（CPI）や鉱工業生産が市場予想を下回り、米国連邦準備制度理事会（FRB）が2024年以降に利下げに転ずることを期待して利回りが反転傾向をたどり、期間末では3.9%まで低下しました。

ドイツでは、欧州経済の先行き不安が幾分後退したことや、欧州中央銀行（ECB）が追加利上げを継続するという見方により利回りは上昇しましたが、2023年9月の非製造業購買担当者景気指数（PMI）改定値の下方修正、8月の鉱工業生産指数が市場予想よりも悪化したことで10月から利回りは低下傾向に向かいました。

日本においては植田日本銀行総裁の発言から、日本銀行がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の修正に入るのではないかとという予想から長期金利が2023年11月上旬には0.96%に達しました。その後米国長期金利の低下とともに日本国債利回りも低下し、12月下旬の金融政策決定会合において金融緩和政策を維持すると発表したことも加わり期間末まで横ばいで推移し、期間末では約0.6%となりました。

（国内短期金利市況）

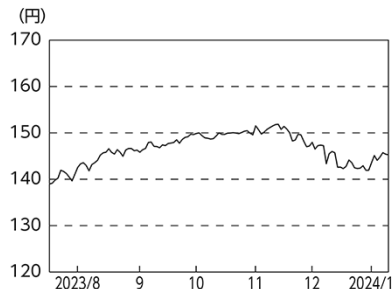
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.15%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.22%近辺で期間末を迎えました。

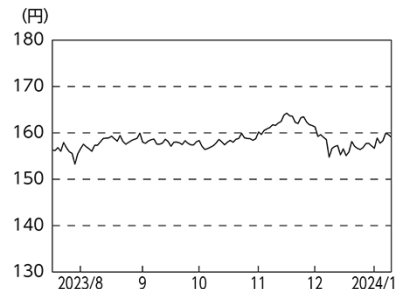
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行ないました。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

「世界ソブリン・ベビーファンド」は、「計量世界債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を図ることを目標としたファンドです。

「計量世界債券マザーファンド」では、以下のような運用がなされました。

①債券・円短期金融商品における資産間配分

債券と円短期金融商品における資産間配分では、弱気としました。期間中の資産間配分は本マザーファンドのパフォーマンスにプラス要因となったものと推定されます。

②債券国別配分

債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響はマイナスであったものと推定されます。フランスおよびオーストラリアに対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、英国、ドイツおよびカナダに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

③通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行ないます。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、アメリカドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、アメリカドルの配分を減らすということになります。

期間中の通貨配分戦略は本マザーファンドのパフォーマンスにマイナス要因となったものと推定されます。ニュージーランドドルおよびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、スイスフランに対して弱気、アメリカドルに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

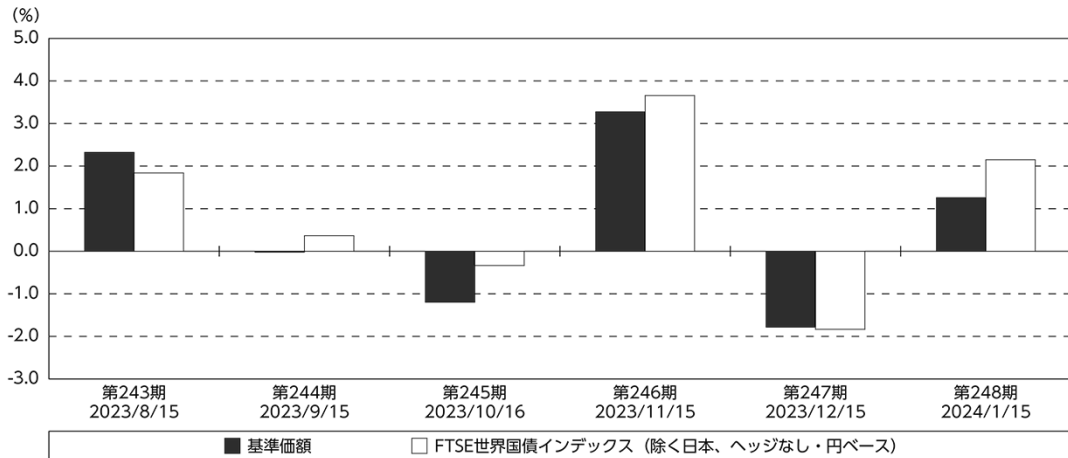
（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期	第248期
	2023年7月19日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年9月15日	2023年9月16日～ 2023年10月16日	2023年10月17日～ 2023年11月15日	2023年11月16日～ 2023年12月15日	2023年12月16日～ 2024年1月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.100%	5 0.100%	5 0.101%	5 0.098%	5 0.100%	5 0.099%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	73	74	74	77	78	80

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「世界ソブリン・ベビーファンド」受益証券を高位に組み入れ、残余部分は「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券を中心に組み入れて運用を行いません。

（世界ソブリン・ベビーファンド）

主として「計量世界債券マザーファンド」受益証券に投資し、原則として、その組入比率を高位に保ちます。これにより、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

債券国別、通貨、資産間の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

①債券・円短期金融商品間における資産間配分

資産間配分では、円キャッシュに対し、モメンタムの観点から世界債券にやや弱気の見通しとしています。

②債券国別配分

債券国別配分においては、フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、カナダやその他欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュウの観点から強気とする一方で、カナダとその他欧州各国に対してはマクロおよびモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

③通貨配分

通貨配分においては、オーストラリアやノルウェーに強気の見通しとする一方で、カナダや英国に対して弱気の見通しとしています。オーストラリアに対してはリスク・プレミアムの観点から、ノルウェーに対してはバリュウおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、カナダに対しては、バリュウおよびリスク・プレミアムの観点から、英国に対してはリスク・プレミアムおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年7月19日～2024年1月15日）

項 目	第243期～第248期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.218	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(2)	(0.044)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.158)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	11	0.220	
作成期間の平均基準価額は、5,000円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

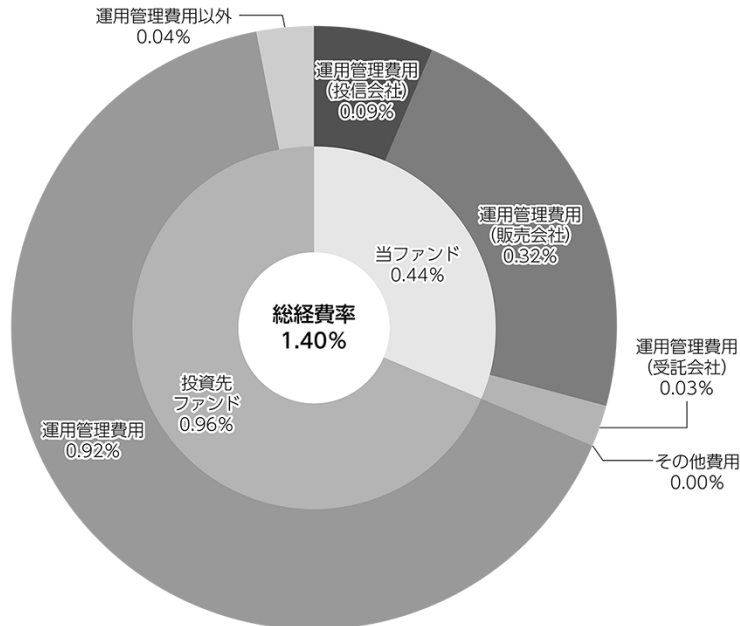
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.40
①当ファンドの費用の比率	0.44
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.92
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年7月19日～2024年1月15日)

投資信託証券

銘柄		第243期～第248期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	世界ソブリン・ベビーファンド	千口 47,345	千円 30,307	千口 288,783	千円 185,087

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第243期～第248期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネー・オープン・マザーファンド		千口 -	千円 -	千口 70	千円 71

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月19日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年7月19日～2024年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年7月19日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第242期末		第248期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
世界ソブリン・ベビーファンド			5,184,903		4,943,464	3,199,904	98.3
合	計		5,184,903		4,943,464	3,199,904	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第242期末		第248期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド			6,422		6,352	6,448

(注) 親投資信託の2024年1月15日現在の受益権総口数は、289,106千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項	目	第248期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		3,199,904	98.2
マネー・オープン・マザーファンド		6,448	0.2
コール・ローン等、その他		53,513	1.6
投資信託財産総額		3,259,865	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第243期末	第244期末	第245期末	第246期末	第247期末	第248期末
	2023年8月15日現在	2023年9月15日現在	2023年10月16日現在	2023年11月15日現在	2023年12月15日現在	2024年1月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,373,556,814	3,344,588,336	3,290,080,193	3,351,334,826	3,240,657,837	3,259,865,984
コール・ローン等	49,411,836	50,269,918	48,131,068	50,003,919	48,584,139	49,944,010
投資信託受益証券(評価額)	3,312,999,903	3,279,044,936	3,230,554,166	3,290,373,974	3,181,530,744	3,199,904,862
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	6,521,265	6,521,265	6,488,992	6,448,672	6,448,672	6,448,672
未収入金	4,623,810	8,752,217	4,905,967	4,508,261	4,094,282	3,568,440
(B) 負債	5,807,548	9,868,499	4,564,930	4,762,067	6,379,350	5,177,327
未払収益分配金	3,355,153	3,325,803	3,319,945	3,277,594	3,228,260	3,211,613
未払解約金	1,317,759	5,272,826	—	289,650	1,951,518	737,317
未払信託報酬	1,123,378	1,257,273	1,232,645	1,182,994	1,187,698	1,216,238
未払利息	34	37	25	9	6	5
その他未払費用	11,224	12,560	12,315	11,820	11,868	12,154
(C) 純資産総額(A－B)	3,367,749,266	3,334,719,837	3,285,515,263	3,346,572,759	3,234,278,487	3,254,688,657
元本	6,710,307,746	6,651,606,932	6,639,891,539	6,555,189,515	6,456,521,434	6,423,227,204
次期繰越損益金	△3,342,558,480	△3,316,887,095	△3,354,376,276	△3,208,616,756	△3,222,242,947	△3,168,538,547
(D) 受益権総口数	6,710,307,746口	6,651,606,932口	6,639,891,539口	6,555,189,515口	6,456,521,434口	6,423,227,204口
1万口当たり基準価額(C/D)	5.019円	5.013円	4.948円	5.105円	5.009円	5.067円

(注) 当ファンドの第243期首元本額は6,740,854,740円、第243～248期中追加設定元本額は31,014,290円、第243～248期中一部解約元本額は348,641,826円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第243期0.5019円、第244期0.5013円、第245期0.4948円、第246期0.5105円、第247期0.5009円、第248期0.5067円です。

(注) 2024年1月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,168,538,547円です。

○損益の状況

項 目	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期	第248期
	2023年7月19日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年9月15日	2023年9月16日～ 2023年10月16日	2023年10月17日～ 2023年11月15日	2023年11月16日～ 2023年12月15日	2023年12月16日～ 2024年1月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	5,151,587	5,105,815	5,101,012	5,034,667	4,961,432	4,940,467
受取配当金	5,153,994	5,108,020	5,101,966	5,034,961	4,961,731	4,940,739
支払利息	△ 2,407	△ 2,205	△ 954	△ 294	△ 299	△ 272
(B) 有価証券売買損益	72,252,138	△ 4,081,260	△ 43,864,015	102,409,307	△ 62,455,203	36,586,609
売買益	72,361,420	127,794	80,871	102,736,075	416,362	36,734,198
売買損	△ 109,282	△ 4,209,054	△ 43,944,886	△ 326,768	△ 62,871,565	△ 147,589
(C) 信託報酬等	△ 1,134,602	△ 1,269,833	△ 1,244,960	△ 1,194,815	△ 1,199,566	△ 1,228,392
(D) 当期損益金(A+B+C)	76,269,123	△ 245,278	△ 40,007,963	106,249,159	△ 58,693,337	40,298,684
(E) 前期繰越損益金	△2,110,412,727	△2,017,201,394	△2,015,903,231	△2,031,782,176	△1,898,693,587	△1,949,363,500
(F) 追加信託差損益金	△1,305,059,723	△1,296,114,620	△1,295,145,137	△1,279,806,145	△1,261,627,763	△1,256,262,118
(配当等相当額)	(39,423,222)	(39,090,172)	(39,027,908)	(38,536,170)	(37,962,996)	(37,774,553)
(売買損益相当額)	(△1,344,482,945)	(△1,335,204,792)	(△1,334,173,045)	(△1,318,342,315)	(△1,299,590,759)	(△1,294,036,671)
(G) 計(D+E+F)	△3,339,203,327	△3,313,561,292	△3,351,056,331	△3,205,339,162	△3,219,014,687	△3,165,326,934
(H) 収益分配金	△ 3,355,153	△ 3,325,803	△ 3,319,945	△ 3,277,594	△ 3,228,260	△ 3,211,613
次期繰越損益金(G+H)	△3,342,558,480	△3,316,887,095	△3,354,376,276	△3,208,616,756	△3,222,242,947	△3,168,538,547
追加信託差損益金	△1,305,059,723	△1,296,114,620	△1,295,145,137	△1,279,806,145	△1,261,627,763	△1,256,262,118
(配当等相当額)	(39,423,222)	(39,090,172)	(39,027,908)	(38,536,170)	(37,962,996)	(37,774,553)
(売買損益相当額)	(△1,344,482,945)	(△1,335,204,792)	(△1,334,173,045)	(△1,318,342,315)	(△1,299,590,759)	(△1,294,036,671)
分配準備積立金	9,746,333	10,159,138	10,670,644	12,229,408	12,572,026	14,082,518
繰越損益金	△2,047,245,090	△2,030,931,613	△2,069,901,783	△1,941,040,019	△1,973,187,210	△1,926,358,947

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年7月19日～2024年1月15日)は以下の通りです。

項 目	2023年7月19日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年9月15日	2023年9月16日～ 2023年10月16日	2023年10月17日～ 2023年11月15日	2023年11月16日～ 2023年12月15日	2023年12月16日～ 2024年1月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,075,712円	3,835,700円	3,855,930円	4,978,593円	3,761,830円	4,794,254円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	39,423,222円	39,090,172円	39,027,908円	38,536,170円	37,962,996円	37,774,553円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	8,025,774円	9,649,241円	10,134,659円	10,528,409円	12,038,456円	12,499,877円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	52,524,708円	52,575,113円	53,018,497円	54,043,172円	53,763,282円	55,068,684円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	78円	79円	79円	82円	83円	85円
g. 分配金	3,355,153円	3,325,803円	3,319,945円	3,277,594円	3,228,260円	3,211,613円
h. 分配金(1万円当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期	第248期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

○お知らせ

約款変更について

2023年7月19日から2024年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

世界ソブリン・
ベビーファンド

追加型投信／海外／債券

第248期末(2024年1月12日)	第243期～第248期		
基準価額	6,463円	騰落率	4.8%
純資産総額	3,422百万円	分配金合計	60円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	
本ファンド	計量世界債券マザーファンドの受益証券
計量世界債券マザーファンド	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・外貨建資産への投資については制限を設けません。 ・株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。
分配方針	原則として毎計算期末(毎月14日。休業日の場合は前営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第243期(決算日2023年8月14日)

第244期(決算日2023年9月14日)

第245期(決算日2023年10月13日)

第246期(決算日2023年11月14日)

第247期(決算日2023年12月14日)

第248期(決算日2024年1月12日)

作成対象期間:2023年7月15日～2024年1月12日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「世界ソブリン・ベビーファンド」は、このたび、第243期～第248期の決算を行いました。本ファンドは、独自開発の計量運用モデルを用いて世界各国の債券、通貨に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

■最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	債券	債券	純資産 総額
							組入比率	先物比率	
		円	円	%		%	%	%	百万円
①	219期(2021年8月13日)	6,295	10	0.6	20,344	0.5	88.0	△4.3	4,048
	220期(2021年9月14日)	6,279	10	△0.1	20,281	△0.3	88.3	3.1	4,017
	221期(2021年10月14日)	6,295	10	0.4	20,566	1.4	88.4	△19.3	4,004
	222期(2021年11月12日)	6,344	10	0.9	20,501	△0.3	89.1	△18.2	4,014
	223期(2021年12月14日)	6,289	10	△0.7	20,461	△0.2	90.1	△12.3	3,964
	224期(2022年1月14日)	6,183	10	△1.5	20,186	△1.3	90.9	△23.4	3,860
②	225期(2022年2月14日)	6,018	10	△2.5	19,857	△1.6	91.3	△26.0	3,736
	226期(2022年3月14日)	6,071	10	1.0	19,810	△0.2	83.7	△11.3	3,750
	227期(2022年4月14日)	6,233	10	2.8	20,303	2.5	82.3	△21.8	3,835
	228期(2022年5月13日)	6,164	10	△0.9	20,241	△0.3	82.1	△14.8	3,778
	229期(2022年6月14日)	6,137	10	△0.3	20,080	△0.8	81.5	△43.3	3,737
	230期(2022年7月14日)	6,399	10	4.4	21,121	5.2	82.4	△23.6	3,880
③	231期(2022年8月12日)	6,297	10	△1.4	20,744	△1.8	82.6	△9.6	3,798
	232期(2022年9月14日)	6,434	10	2.3	21,006	1.3	81.7	△29.9	3,846
	233期(2022年10月14日)	6,247	10	△2.8	20,697	△1.5	80.5	△11.1	3,723
	234期(2022年11月14日)	6,080	10	△2.5	20,465	△1.1	81.9	△27.4	3,592
	235期(2022年12月14日)	6,126	10	0.9	20,425	△0.2	83.1	△26.6	3,601
	236期(2023年1月13日)	5,841	10	△4.5	19,376	△5.1	83.3	△21.7	3,432
④	237期(2023年2月14日)	5,916	10	1.5	19,830	2.3	83.0	△29.4	3,438
	238期(2023年3月14日)	5,949	10	0.7	20,093	1.3	84.2	△12.6	3,446
	239期(2023年4月14日)	6,007	10	1.1	20,332	1.2	84.7	4.2	3,454
	240期(2023年5月12日)	6,084	10	1.4	20,630	1.5	84.7	22.4	3,495
	241期(2023年6月14日)	6,220	10	2.4	20,963	1.6	85.1	△3.0	3,496
	242期(2023年7月14日)	6,225	10	0.2	21,157	0.9	86.5	6.1	3,459
⑤	243期(2023年8月14日)	6,401	10	3.0	21,639	2.3	85.4	△41.5	3,542
	244期(2023年9月14日)	6,412	10	0.3	21,718	0.4	86.0	1.6	3,519
	245期(2023年10月13日)	6,335	10	△1.0	21,645	△0.3	85.8	△25.1	3,451
	246期(2023年11月14日)	6,490	10	2.6	22,437	3.7	87.0	0.2	3,492
	247期(2023年12月14日)	6,311	10	△2.6	22,025	△1.8	90.1	△9.8	3,354
	248期(2024年1月12日)	6,463	10	2.6	22,498	2.1	90.4	△25.7	3,422

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第243期	(期 首)2023年7月14日	6,225	—	21,157	—	86.5	6.1
	7月末	6,305	1.3	21,516	1.7	85.8	△41.4
	(期 末)2023年8月14日	6,411	3.0	21,639	2.3	85.4	△41.5
第244期	(期 首)2023年8月14日	6,401	—	21,639	—	85.4	△41.5
	8月末	6,498	1.5	21,813	0.8	85.3	△8.6
	(期 末)2023年9月14日	6,422	0.3	21,718	0.4	86.0	1.6
第245期	(期 首)2023年9月14日	6,412	—	21,718	—	86.0	1.6
	9月末	6,365	△0.7	21,635	△0.4	85.3	△27.6
	(期 末)2023年10月13日	6,345	△1.0	21,645	△0.3	85.8	△25.1
第246期	(期 首)2023年10月13日	6,335	—	21,645	—	85.8	△25.1
	10月末	6,262	△1.2	21,795	0.7	86.7	△9.1
	(期 末)2023年11月14日	6,500	2.6	22,437	3.7	87.0	0.2
第247期	(期 首)2023年11月14日	6,490	—	22,437	—	87.0	0.2
	11月末	6,467	△0.4	22,301	△0.6	88.7	△34.3
	(期 末)2023年12月14日	6,321	△2.6	22,025	△1.8	90.1	△9.8
第248期	(期 首)2023年12月14日	6,311	—	22,025	—	90.1	△9.8
	12月末	6,454	2.3	22,124	0.5	90.1	△11.5
	(期 末)2024年1月12日	6,473	2.6	22,498	2.1	90.4	△25.7

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

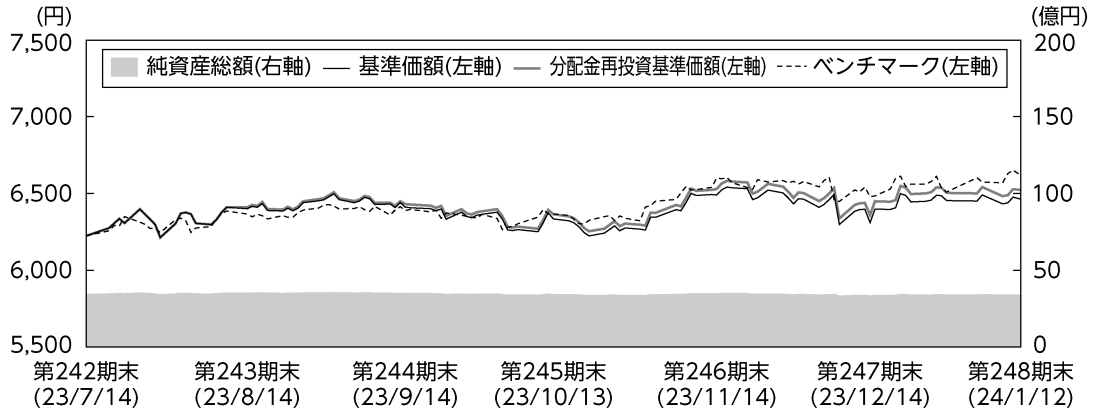
(注2) ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース））は、2003年3月27日（設定日）を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率、債券先物比率は、実質比率を記載しております。

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年7月15日～2024年1月12日）



第243期首：6,225円

第248期末：6,463円

（当作成期中にお支払いした分配金：60円）

騰落率：+4.8%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の6,225円から238円上昇し、期末には6,463円となりました。

上昇要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロ、英ポンドなどが対円で上昇したことや、資産間配分戦略がプラスに寄与したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

債券国別配分戦略と通貨配分戦略がマイナスに寄与したことや、分配金をお支払いしたことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

<外国債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは国によってまちまちの展開となりました。

米国債の利回りは、2023年4～6月期の実質GDP（国内総生産）速報値や7月のADP全米雇用レポートの結果が市場予想を上回ったことで、堅調な労働市場や景気回復期待から利回りが上昇しました。8月になると、一部産油国による減産などを背景に原油先物価格が上昇し、インフレ圧力が懸念されたことや、8月のISM（米供給管理協会）非製造業景況指数が市場予想を上回ったことなどを受けて、利回りは引き続き上昇しました。また、小売売上高や鉱工業生産指数がいずれも市場予想を上回り、経済の先行きに対する楽観的な見方が強まったこともあり、米国10年国債の利回りは10月後半には4.9%まで上昇しました。しかし11月以降になるとCPI（消費者物価指数）や鉱工業生産指数が市場予想を下回るようになり、FRB（米連邦準備制度理事会）が2024年以降に利下げに転じることを期待して利回りが反転傾向をたどり、期末には3.9%まで低下しました。

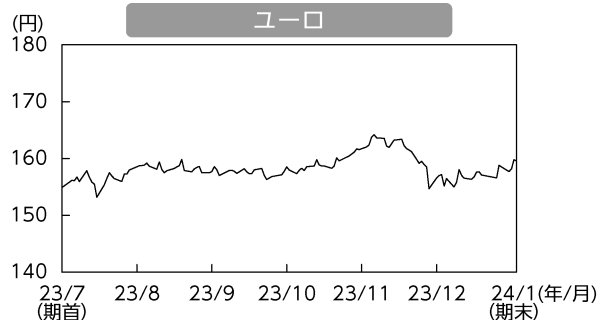
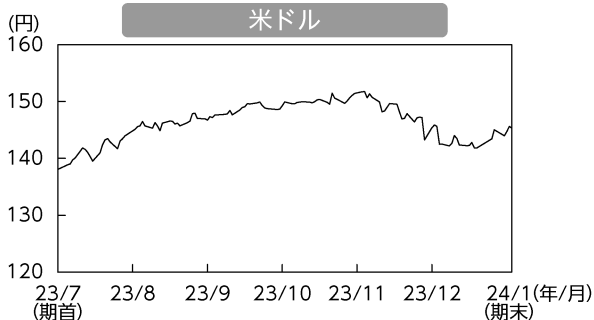
ドイツでは、欧州経済の先行き不安が幾分後退したことや、ECB（欧州中央銀行）が追加利上げを継続するという見方により利回りは上昇しましたが、9月の非製造業PMI（購買担当者景気指数）改定値の下方修正、および8月の鉱工業生産指数が市場予想よりも悪化したことで、10月以降利回りは低下傾向となりました。

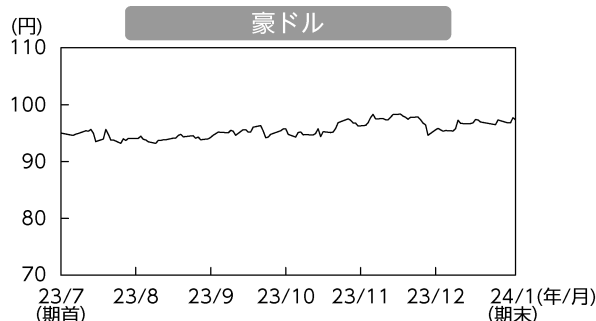
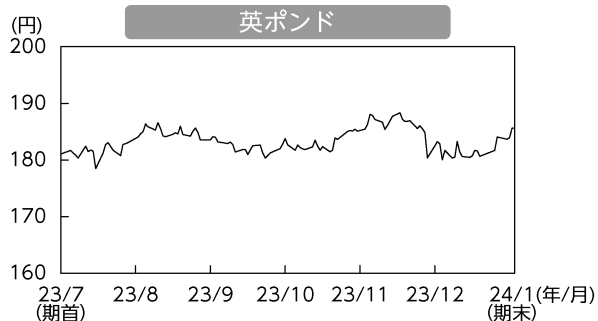
日本においては、植田日本銀行総裁の発言から日本銀行がイールドカーブ・コントロール政策の修正に入るのではないかと期待され、日本10年国債利回りが11月上旬には1%近くにまで達しました。その後米国長期金利の低下とともに日本国債利回りも低下し、12月下旬の金融政策決定会合において金融緩和策の維持を発表したことも加わり期末まで横ばいで推移し、期末では0.6%でした。

<外国為替市場>

外国為替市場は、主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

○為替レート（対円）の推移





出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

<本ファンド>

計量世界債券マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開発した計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施しながら、世界各国の債券、通貨への投資を行いました。

<本マザーファンド>

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

当期における資産間配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。

債券国別配分

当期における債券国別配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。フランスおよびオーストラリアに対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、英国、ドイツおよびカナダに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

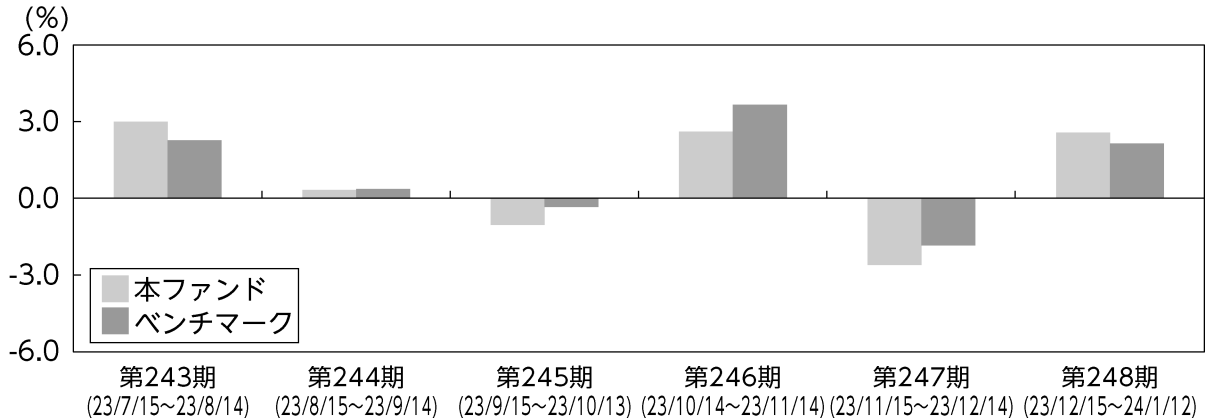
通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

当期における通貨配分の本マザーファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。ニュージーランド・ドルおよびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、スイス・フランに対して弱気、米ドルに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

＜当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）＞



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース）です。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+4.8%となり、ベンチマーク（+6.3%）を下回りました。

当期においては、資産間配分がプラス寄与となった一方、債券国別配分や通貨配分はマイナス寄与となりました。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第243期から第248期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続き本マザーファンド受益証券の組入れを高位に維持し、世界各国の債券および通貨への投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目指していきます。

＜本マザーファンド＞

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

モメンタムの観点から、世界債券にやや弱気の見通しとしています。

債券国別配分

フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、カナダやその他欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュウの観点から強気とする一方で、カナダやその他欧州各国に対してはマクロとモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

オーストラリア・ドルやノルウェー・クローネに強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルや英ポンドに対して弱気の見通しとしています。オーストラリア・ドルに対してはリスク・プレミアムの観点から、ノルウェー・クローネに対してはバリュウおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルに対してはバリュウおよびリスク・プレミアムの観点から、英ポンドに対してはリスク・プレミアムおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2024年1月12日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■1万口当たりの費用明細

項目	第243期～第248期		項目の概要
	2023年7月15日～2024年1月12日		
	金額	比率	
信託報酬	30円	0.465%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(19)	(0.301)	
(販売会社)	(10)	(0.159)	
(受託会社)	(0)	(0.005)	
売買委託手数料	1	0.019	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(1)	(0.016)	
(プライムブローカー)	(0)	(0.003)	
その他費用	1	0.018	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(保管費用)	(0)	(0.004)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(1)	(0.011)	
合計	32	0.502	

期中の平均基準価額は6,391円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年7月15日から2024年1月12日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第243期～第248期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	18,055	37,030	123,413	254,321

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年7月15日から2024年1月12日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2024年1月12日現在)

親投資信託残高

種 類	第242期末	第248期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	1,740,692	1,635,334	3,430,604

■投資信託財産の構成

2024年1月12日現在

項 目	第248期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
計 量 世 界 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,430,604	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,329	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	3,433,933	100.0

(注1) 計量世界債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,160,837千円)の投資信託財産総額(3,518,514千円)に対する比率は89.8%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=145.32円、1カナダドル=108.61円、1ユーロ=159.55円、1英ポンド=185.62円、1オーストラリアドル=97.36円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第243期末	第244期末	第245期末	第246期末	第247期末	第248期末
	2023年8月14日	2023年9月14日	2023年10月13日	2023年11月14日	2023年12月14日	2024年1月12日
(A) 資 産	3,555,363,130円	3,536,323,082円	3,464,312,108円	3,505,286,747円	3,366,285,383円	3,433,933,436円
計量世界債券マザー ファンド(評価額)	3,550,739,321	3,527,570,866	3,459,437,772	3,500,778,487	3,362,191,102	3,430,604,609
未 収 入 金	4,623,809	8,752,216	4,874,336	4,508,260	4,094,281	3,328,827
(B) 負 債	12,994,281	17,120,421	12,952,923	12,764,013	12,121,268	11,222,153
未 払 収 益 分 配 金	5,534,025	5,488,161	5,447,792	5,381,333	5,314,846	5,295,512
未 払 解 約 金	4,623,809	8,752,216	4,874,336	4,508,260	4,094,281	3,328,827
未 払 信 託 報 酬	2,775,475	2,813,524	2,570,032	2,808,029	2,649,499	2,537,811
そ の 他 未 払 費 用	60,972	66,520	60,763	66,391	62,642	60,003
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,542,368,849	3,519,202,661	3,451,359,185	3,492,522,734	3,354,164,115	3,422,711,283
元 本	5,534,025,721	5,488,161,311	5,447,792,291	5,381,333,274	5,314,846,009	5,295,512,881
次 期 繰 越 損 益 金	△1,991,656,872	△1,968,958,650	△1,996,433,106	△1,888,810,540	△1,960,681,894	△1,872,801,598
(D) 受 益 権 総 口 数	5,534,025,721口	5,488,161,311口	5,447,792,291口	5,381,333,274口	5,314,846,009口	5,295,512,881口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,401円	6,412円	6,335円	6,490円	6,311円	6,463円

(注) 当作成期首元本額は5,557,136,163円、当作成期間(第243期～第248期)中において、追加設定元本額は58,154,797円、同解約元本額は319,778,079円です。

■損益の状況

項 目	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期	第248期
	自2023年7月15日 至2023年8月14日	自2023年8月15日 至2023年9月14日	自2023年9月15日 至2023年10月13日	自2023年10月14日 至2023年11月14日	自2023年11月15日 至2023年12月14日	自2023年12月15日 至2024年1月12日
(A) 有価証券売買損益	105,838,830円	14,560,464円	△ 33,879,161円	91,524,113円	△ 87,144,337円	88,601,785円
売 買 益	106,347,789	14,892,784	107,139	92,172,085	156,092	89,146,491
売 買 損	△ 508,959	△ 332,320	△ 33,986,300	△ 647,972	△ 87,300,429	△ 544,706
(B) 信託報酬等	△ 2,836,447	△ 2,880,044	△ 2,630,795	△ 2,874,420	△ 2,712,141	△ 2,597,814
(C) 当期損益金(A+B)	103,002,383	11,680,420	△ 36,509,956	88,649,693	△ 89,856,478	86,003,971
(D) 前期繰越損益金	△ 722,930,092	△ 619,310,644	△ 607,660,616	△ 640,682,329	△ 549,278,566	△ 640,748,984
(E) 追加信託差損益金	△ 1,366,195,138	△ 1,355,840,265	△ 1,346,814,742	△ 1,331,396,571	△ 1,316,232,004	△ 1,312,761,073
(配当等相当額)	(32,558,130)	(32,412,353)	(32,303,402)	(32,040,057)	(31,839,980)	(31,912,051)
(売買損益相当額)	(△ 1,398,753,268)	(△ 1,388,252,618)	(△ 1,379,118,144)	(△ 1,363,436,628)	(△ 1,348,071,984)	(△ 1,344,673,124)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,986,122,847	△ 1,963,470,489	△ 1,990,985,314	△ 1,883,429,207	△ 1,955,367,048	△ 1,867,506,086
(G) 収益分配金	△ 5,534,025	△ 5,488,161	△ 5,447,792	△ 5,381,333	△ 5,314,846	△ 5,295,512
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,991,656,872	△ 1,968,958,650	△ 1,996,433,106	△ 1,888,810,540	△ 1,960,681,894	△ 1,872,801,598
追加信託差損益金	△ 1,366,195,138	△ 1,355,840,265	△ 1,346,814,742	△ 1,331,396,571	△ 1,316,232,004	△ 1,312,761,073
(配当等相当額)	(32,576,402)	(32,430,981)	(32,319,835)	(32,059,406)	(31,857,529)	(31,938,080)
(売買損益相当額)	(△ 1,398,771,540)	(△ 1,388,271,246)	(△ 1,379,134,577)	(△ 1,363,455,977)	(△ 1,348,089,533)	(△ 1,344,699,153)
分配準備積立金	68,481,299	71,805,939	73,547,824	78,882,978	80,953,376	86,063,353
繰越損益金	△ 693,943,033	△ 684,924,324	△ 723,166,188	△ 636,296,947	△ 725,403,266	△ 646,103,878

(注1) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期	第248期
1万円当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◇分配金につきましては、販売会社が、自動けいぞく投資契約（販売会社によっては名称が異なる場合もございます）に基づいて、ファンドへの再投資を行っております。

■ 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期	第248期
	2023年7月15日 ~2023年8月14日	2023年8月15日 ~2023年9月14日	2023年9月15日 ~2023年10月13日	2023年10月14日 ~2023年11月14日	2023年11月15日 ~2023年12月14日	2023年12月15日 ~2024年1月12日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.156	0.156	0.158	0.154	0.158	0.154
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	182	189	194	206	212	222

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

計量世界債券 マザーファンド

親投資信託

第42期（決算日2024年1月12日）

作成対象期間:2023年7月15日～2024年1月12日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
法令・諸規則に基づき、親投資信託(マザーファンド)の
期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げ
ます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	世界各国の債券、通貨を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの構築には、ゴールドマン・サックスが開発した計量モデルを使い、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。計量モデルによる分析に基づき、債券・円短期金融商品における資産間配分、債券国別配分、および通貨配分を含む戦略を実施します。
主要投資対象	債券先物取引、円短期金融商品を含む世界各国の債券、通貨
組入制限	①外貨建資産への投資については制限を設けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の5%以下とします。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先: 03-6437-6000(代表) | www.gsam.co.jp
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
38期(2022年1月14日)	18,943	0.1	20,186	△0.3	90.7	△23.3	3,869
39期(2022年7月14日)	19,889	5.0	21,121	4.6	82.2	△23.6	3,889
40期(2023年1月13日)	18,422	△7.4	19,376	△8.3	83.1	△21.7	3,441
41期(2023年7月14日)	19,921	8.1	21,157	9.2	86.2	6.1	3,467
42期(2024年1月12日)	20,978	5.3	22,498	6.3	90.2	△25.7	3,430

(注1) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰落率		騰落率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2023年7月14日	19,921	—	21,157	—	86.2	6.1
7月末	20,187	1.3	21,516	1.7	85.8	△41.3
8月末	20,852	4.7	21,813	3.1	85.3	△8.6
9月末	20,475	2.8	21,635	2.3	85.3	△27.6
10月末	20,190	1.4	21,795	3.0	86.6	△9.1
11月末	20,899	4.9	22,301	5.4	88.7	△34.3
12月末	20,907	4.9	22,124	4.6	90.1	△11.5
(期 末)						
2024年1月12日	20,978	5.3	22,498	6.3	90.2	△25.7

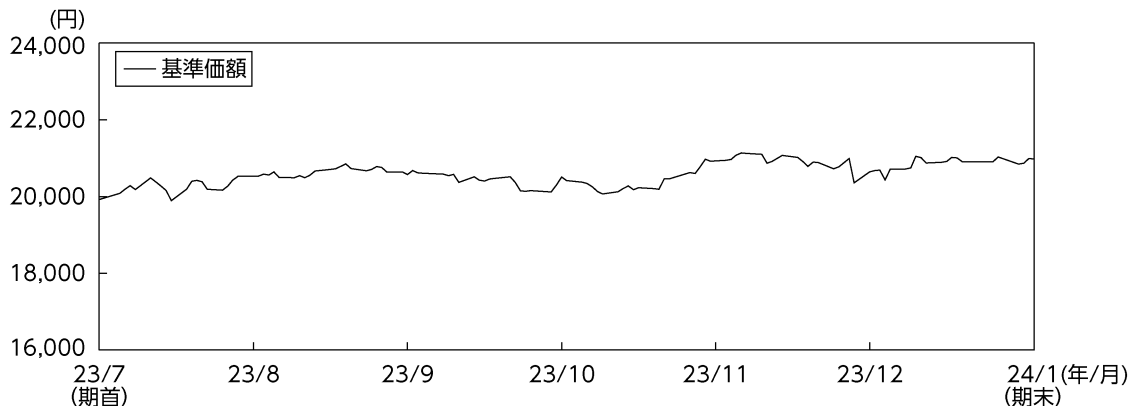
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマーク (F T S E世界国債インデックス (日本を除く、為替ヘッジなし、円ベース)) は、2003年3月27日 (設定日) を10,000として指数化しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

運用経過

■基準価額の推移について（2023年7月15日～2024年1月12日）



■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の19,921円から1,057円上昇し、期末には20,978円となりました。

上昇要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロ、英ポンドなどが対円で上昇したことや、資産間配分戦略がプラスに寄与したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

債券国別配分戦略と通貨配分戦略がマイナスに寄与したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■投資環境について

<外国債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは国によってまちまちの展開となりました。

米国債の利回りは、2023年4～6月期の実質GDP（国内総生産）速報値や7月のADP全米雇用レポートの結果が市場予想を上回ったことで、堅調な労働市場や景気回復期待から利回りが上昇しました。8月になると、一部産油国による減産などを背景に原油先物価格が上昇し、インフレ圧力が懸念されたことや、8月のISM（米供給管理協会）非製造業景況指数が市場予想を上回ったことなどを受けて、利回りは引き続き上昇しました。また、小売売上高や鉱工業生産指数がいずれも市場予想を上回り、経済の先行きに対する楽観的な見方が強まったこともあり、米国10年国債の利回りは10月後半には4.9%まで上昇しました。しかし11月以降になるとCPI（消費者物価指数）や鉱工業生産指数が市場予想を

下回るようになり、F R B（米連邦準備制度理事会）が2024年以降に利下げに転じることを期待して利回りが反転傾向をたどり、期末には3.9%まで低下しました。

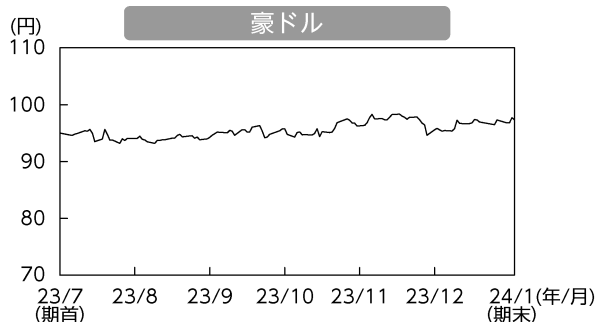
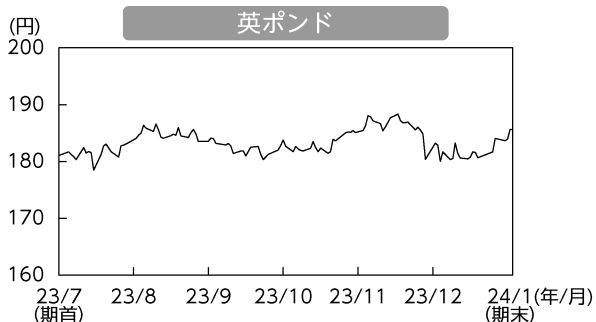
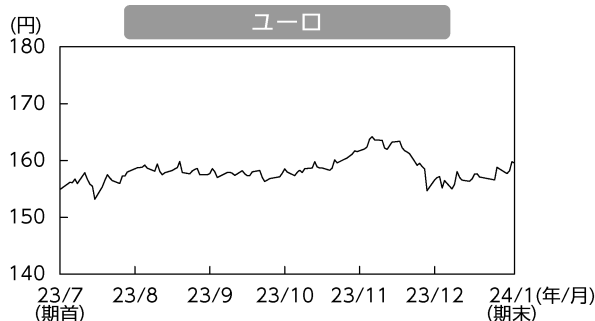
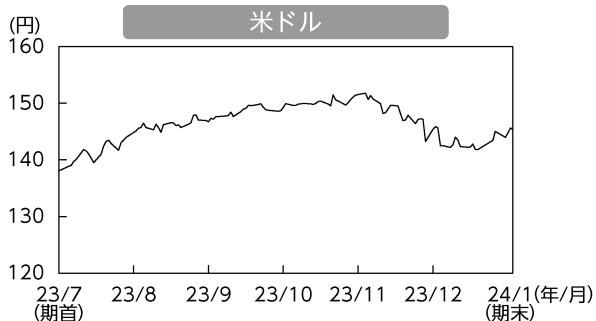
ドイツでは、欧州経済の先行き不安が幾分後退したことや、E C B（欧州中央銀行）が追加利上げを継続するという見方により利回りは上昇しましたが、9月の非製造業PMI（購買担当者景気指数）改定値の下方修正、および8月の鉱工業生産指数が市場予想よりも悪化したことで、10月以降利回りは低下傾向となりました。

日本においては、植田日本銀行総裁の発言から日本銀行がイールドカーブ・コントロール政策の修正に入るのではないかと期待され、日本10年国債利回りが11月上旬には1%近くにまで達しました。その後米国長期金利の低下とともに日本国債利回りも低下し、12月下旬の金融政策決定会合において金融緩和策の維持を発表したことも加わり期末まで横ばいで推移し、期末では0.6%でした。

<外国為替市場>

外国為替市場は、主要先進国通貨は円に対して総じて上昇しました。

○為替レート（対円）の推移



出所：三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値（TTMレート）

■ポートフォリオについて

ベンチマークの構成比率を基本資産配分比率としながら、市場見通しにより債券と通貨の資産配分を機動的に変更するアクティブ運用を行いました。

債券・円短期金融商品における資産間配分

当期における資産間配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響は、プラスであったものと推定されます。

債券国別配分

当期における債券国別配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。フランスおよびオーストラリアに対して強気としていたことがプラス要因となりましたが、英国、ドイツおよびカナダに対して弱気としたことがマイナス要因となりました。

通貨配分

通貨配分は、債券の配分とは独立して行います。例えば、米国の債券について強気の見通しであっても、米ドルに対して日本円が強気の見通しであれば、米国債券にはより多く配分する一方で、米ドルの配分を減らすということになります。

当期における通貨配分の本ファンドのパフォーマンスへの影響は、マイナスであったものと推定されます。ニュージーランド・ドルおよびユーロに対して強気としていたことがプラス要因となった一方で、スイス・フランに対して弱気、米ドルに対して強気としたことがマイナス要因となりました。

■ベンチマークとの差異について

当期の本ファンドのパフォーマンスは+5.3%となり、ベンチマーク（+6.3%）を下回りました。

当期においては、資産間配分がプラス寄与となった一方、債券国別配分や通貨配分はマイナス寄与となりました。

今後の運用方針について

資産間、債券国別、通貨の配分については、ファンドにおける組入比率を機動的に見直しつつ運用します。各戦略における対象資産の組入比率は、計量的手法を用いて、マクロ経済やミクロ経済などのデータや資産価格などの市場データについて詳細に評価し、ポートフォリオ全体のリスク・リターン特性が最適なものとなるように決定します。計量的な運用プロセスを一貫して適用していくことを通じて、中長期にわたってより高いリターンを追求することが可能であると考えています。

債券・円短期金融商品における資産間配分

モメンタムの観点から、世界債券にやや弱気の見通しとしています。

債券国別配分

フランスやドイツに対して強気の見通しとする一方で、カナダやその他欧州各国に対して弱気の見通しとしています。フランスとドイツに対してはバリュウの観点から強気とする一方で、カナダやその他欧州各国に対してはマクロとモメンタムの観点から弱気の見通しとしています。

通貨配分

オーストラリア・ドルやノルウェー・クローネに強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルや英ポンドに対して弱気の見通しとしています。オーストラリア・ドルに対してはリスク・プレミアム観点から、ノルウェー・クローネに対してはバリュウおよびモメンタムの観点から強気の見通しとする一方で、カナダ・ドルに対してはバリュウおよびリスク・プレミアムの観点から、英ポンドに対してはリスク・プレミアムおよびマクロの観点から弱気の見通しとしています。

(上記見通しは2024年1月12日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年7月15日～2024年1月12日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (先物・オプション) (プライムブローカー)	4円 (3) (1)	0.019% (0.016) (0.003)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (1)	0.007 (0.004) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	5	0.026	

期中の平均基準価額は20,585円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況(2023年7月15日から2024年1月12日まで)

先物取引の銘柄別取引状況

			買 建		売 建	
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国	債券先物取引	10年国債標準物	百万円 1,750	百万円 2,639	百万円 3,218	百万円 2,627
外	債券先物取引	米国国債先物10年	—	—	3,794	4,214
		カナダ国債先物10年	545	711	1,474	783
		オーストラリア国債先物10年	1,911	2,193	185	185
		英国国債先物10年	17	17	1,283	1,731
		イタリア国債先物10年	791	795	—	—
国	債券先物取引	ドイツ国債先物10年	—	—	3,361	3,093
		フランス国債先物10年	3,710	2,713	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 外国の取引金額は、各月中の取引額を当該月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■利害関係人との取引状況等(2023年7月15日から2024年1月12日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細(2024年1月12日現在)

(1) 公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 10,343	千米ドル 10,187	千円 1,480,511	% 43.2	% —	% 43.2	% —	% —
ユ ー ロ ド イ ツ	千ユーロ 7,446	千ユーロ 8,859	1,413,582	41.2	—	32.4	8.8	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 1,102	千英ポンド 1,073	199,198	5.8	—	5.8	—	—
合 計	—	—	3,093,292	90.2	—	81.4	8.8	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
国 債 証 券	(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円		
	US TREASURY N/B 3%	3.0	3,713	2,961	430,309	2048/2/15	
	US TREASURY N/B 4.5%	4.5	3,346	3,528	512,832	2036/2/15	
	US TREASURY N/B 6.25%	6.25	3,284	3,697	537,369	2030/5/15	
小 計	—	—	—	1,480,511	—	—	
国 債 証 券	(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ			
	DEUTSCHLAND REP 4%	4.0	1,406	1,657	264,516	2037/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,708	1,894	302,319	2028/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 4.75%	4.75	1,413	1,738	277,319	2034/7/4	
	DEUTSCHLAND REP 5.5%	5.5	1,468	1,785	284,950	2031/1/4	
	DEUTSCHLAND REP 6.25%	6.25	1,451	1,782	284,476	2030/1/4	
小 計	—	—	—	1,413,582	—	—	
国 債 証 券	(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド			
	UK TREASURY 3.25%	3.25	286	242	44,953	2044/1/22	
	UK TREASURY 4.25%	4.25	302	312	58,050	2032/6/7	
	UK TREASURY 4.5%	4.5	246	250	46,509	2042/12/7	
	UK TSY 4 1/4% 2039 4.25%	4.25	268	267	49,685	2039/9/7	
小 計	—	—	—	199,198	—	—	
合 計	—	—	—	3,093,292	—	—	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
国		百万円	百万円
内	10年国債標準物	—	589
外	イタリア国債先物10年	414	—
	ドイツ国債先物10年	—	689
	米国国債先物10年	—	424
	カナダ国債先物10年	—	720
国	フランス国債先物10年	1,095	—
	オーストラリア国債先物10年	33	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) —印は組入れなし。

■投資信託財産の構成

2024年1月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,093,292	87.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	425,222	12.1
投 資 信 託 財 産 総 額	3,518,514	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(3,160,837千円)の投資信託財産総額(3,518,514千円)に対する比率は89.8%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=145.32円、1カナダドル=108.61円、1ユーロ=159.55円、1英ポンド=185.62円、1オーストラリアドル=97.36円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2024年1月12日
(A) 資 産	9,307,689,701円
コール・ローン等	242,018,838
公社債（評価額）	3,093,292,359
未収入金	5,854,459,386
未収利息	35,617,081
差入委託証拠金	82,302,037
(B) 負 債	5,877,046,695
未払金	5,873,717,334
未払解約金	3,328,827
未払利息	534
(C) 純資産総額（A - B）	3,430,643,006
元 本	1,635,334,450
次期繰越損益金	1,795,308,556
(D) 受 益 権 総 口 数	1,635,334,450口
1万口当たり基準価額（C/D）	20,978円

■損益の状況

項 目	当 期
	自2023年7月15日 至2024年1月12日
(A) 配 当 等 収 益	68,116,568円
受 取 利 息	68,188,659
支 払 利 息	△ 72,091
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	125,602,752
売 買 益	394,169,076
売 買 損	△ 268,566,324
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△ 12,997,056
取 引 益	163,536,266
取 引 損	△ 176,533,322
(D) 信 託 報 酬 等	△ 342,911
(E) 当 期 損 益 金（A + B + C + D）	180,379,353
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	1,726,862,198
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	18,974,896
(H) 解 約 差 損 益 金	△ 130,907,891
(I) 計（E + F + G + H）	1,795,308,556
次 期 繰 越 損 益 金（I）	1,795,308,556

(注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益および (C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は1,740,692,400円、当作成期間中において、追加設定元本額は18,055,702円、同解約元本額は123,413,652円です。

(注5) 元本の内訳 世界ソブリン・ベビーファンド

1,635,334,450円

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第21期（決算日 2024年 1月15日）
 (2023年 1月17日～2024年 1月15日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行いません。
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
17期(2020年1月15日)	円		%	%	百万円
	10,162		△0.0	—	696
18期(2021年1月15日)	10,159		△0.0	—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0	—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0	—	316
21期(2024年1月15日)	10,152		△0.0	—	293

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2023年1月16日	10,155		—
1月末	10,155		0.0
2月末	10,155		0.0
3月末	10,155		0.0
4月末	10,155		0.0
5月末	10,154		△0.0
6月末	10,154		△0.0
7月末	10,153		△0.0
8月末	10,153		△0.0
9月末	10,153		△0.0
10月末	10,152		△0.0
11月末	10,152		△0.0
12月末	10,152		△0.0
(期 末)			
2024年1月15日	10,152		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年1月17日～2024年1月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,155円の基準価額は、期間末に10,152円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

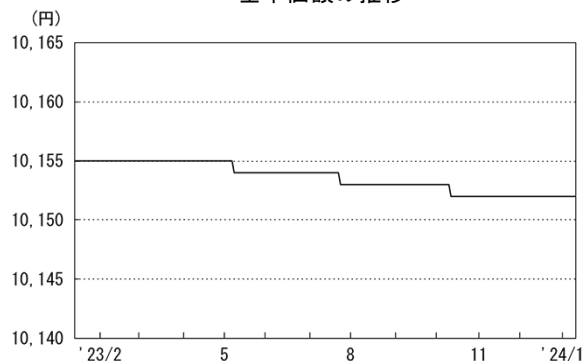
基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2023/01/16	2023/01/17	2023/10/12	2024/01/15
10,155円	10,155円	10,152円	10,152円

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.03% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.01% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.19% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.22% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,153円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

2024年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	293,708	100.0
投資信託財産総額	293,708	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	293,708,776
コール・ローン等	293,708,776
(B) 負債	198,597
未払解約金	198,565
未払利息	32
(C) 純資産総額(A-B)	293,510,179
元本	289,106,290
次期繰越損益金	4,403,889
(D) 受益権総口数	289,106,290口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,152円

(注) 当ファンドの期首元本額は311,251,070円、期中追加設定元本額は8,857,811円、期中一部解約元本額は31,002,591円です。

(注) 2024年1月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	153,800,333円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	68,175,020円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	13,739,040円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	9,629,170円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	9,000,074円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	7,904,694円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,352,120円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,642,457円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	5,477,282円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,481,609円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)	2,121,761円
・日興ビムコ・ハインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,048,723円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	1,047,314円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	538,501円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	469,797円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	460,360円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)E Fund CSI300	198,295円
・上場インデックスファンド海外債券(FITSE WGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0152円です。

○損益の状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 83,775
支払利息	△ 83,775
(B) 保管費用等	△ 385
(C) 当期損益金(A+B)	△ 84,160
(D) 前期繰越損益金	4,826,068
(E) 追加信託差損益金	136,117
(F) 解約差損益金	△ 474,136
(G) 計(C+D+E+F)	4,403,889
次期繰越損益金(G)	4,403,889

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年1月17日から2024年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、投資対象ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年10月11日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第14条、第15条、第16条)